第八週

誘導保育案

汽車

この週にする，特に子供が数人，先生を離れない
位で，他はみんなお友達同志遊び合う様になるのが常であ

収容さを感じないか，雲ぶ気がして来る，そこで，

こんな題目の下に計画して見る。嘗園の保育室に，幅一
メートル長さ一メートルのサンドボックスが備えてあ

取り扱うには及ばない，砂場を一寸，この目的の為に使
用しても可，又相當の大きさの箱があった，それに入れ
て利用して結構

この箱に砂を運ぶだけの事にでも，子供達はそんなに

に子供等の運搬を，語り合等によって充実指導を興げ

の，この両方を駆け廻って，ちよつ，ちよつと指導を興

に二つ並の大きなグループに分けてもよい，ことが

原，山を作るもの。粘土で，レール，汽車を作る者々云ふ工合

に，二つ並の大きなグループに分けでもよい，ことが

機会があると考える。一日は先づこの遊んでここに置く。

ついて，出来た砂箱，片方，粘土で作った，レール，車

電柱，人等を，子供等協議後に置いて配置する，この配置

は餘裕を付けてなければならぬ。未だ，あとは立ち

に，丸で大人の立景にならぬ様に。相手が五，六つ，極

に，自分たちの立景に置き子供の動きを主

にしなければならぬ。
第五週

唱歌

三囲

マコト（エレノン・サガ）

女の子に歌わせる。これは殊に元気一杯な男の子で、お手紙は書き出すためです。この子は砂場で面白く遊んでる様子を、無理に呼んで来て教える必要があります。

遊戯

三囲

マコト（高橋、白羽）

女子だけでして見るのもよいだろう。

第六週

唱歌

三囲

子供たちの自由な表現にまかせず、適当な指導に依っても年長部の最初、圓形の雛で所々に二人宛手を連い手で車輪の回る様子をして駆け出す程度。停車場に着いた時に（曲の終った時）駕名を呼ぶ様にするこ興覚が多い。男児が好きな遊戯である。